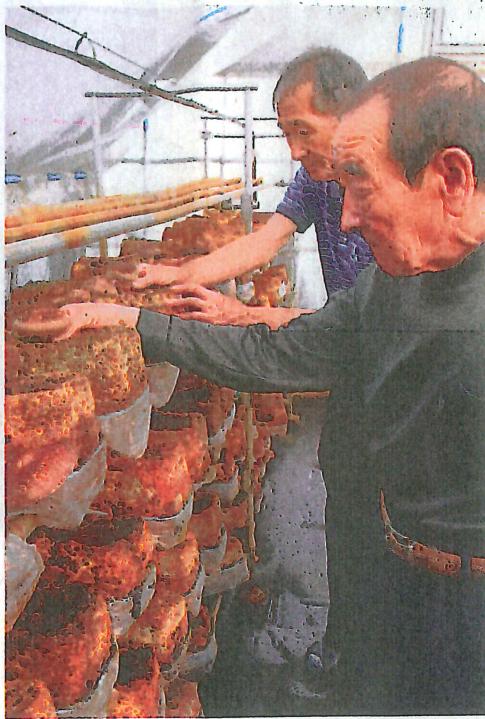


シイタケを手際よく収穫する入居者



養護老人ホーム ナザレ園（茨城）

入居者がシイタケ栽培

役割つくりで健康維持

茨城県那珂市にある養護老人ホーム「ナザレ園」（社会福祉法人ナザレ園、菊池義理事長）では、入居者がシイタケの菌床栽培を行っており、収穫したシイタケを地元のスーパーで販売している。唐辛子やジャガイモの栽培、まき作りなども行っており、入居者が活動する機会を持つ

くつて心身の健康維持につなげている。

菌床は、おかくずや米ぬかなどで固めたブ

ロックに、シイタケの種が打たれているもので、敷地内の農業用ビニールハウスで約100個を育てている。

シイタケは肉厚で直径

7㌢ほどになると収穫できる。発芽から収穫までは1週間程度で、一つの菌床から次々と成長するため、入居者

は毎日のように成長具

合を確認しながら収穫している。1日最大約

500個採れることも

ある。収穫したシイタケを販売用に袋詰めす

るのも入居者の役割となっている。

（樋戸新）

また、ハウス内の温

度は約23～25度に保

ち、1日3回の水まき

が欠かせない。こうし

たシイタケの成長に最

適な環境は入居者が小

まめに観察することで

分かつた。

入居者はほかにも、シイタケは肉厚で直径

7㌢ほどになると収穫

できる。発芽から収穫までは1週間程度で、一つの菌床から次々と成長するため、入居者

は毎日のように成長具

合を確認しながら収穫

している。1日最大約

500個採れることも

ある。収穫したシイタ

ケを販売用に袋詰めす

るのも入居者の役割となっている。

（樋戸新）

沸かすのに使うまき作

りや、法人内の複数の施設で出た生ごみを有機肥料にする取り組み

にも関わる。

勝山ふち美施設長は、「入居者の役割をつくることが大事。入居者

の中には刑余者が増え

ており、役割があること

とが再犯を防ぐことに

もなる」と話している。

（樋戸新）